

ホストファミリー・ハンドブック

留学生受け入れにあたって



ホストファミリーは民間外交員の役目を果たす、留学生にとっては第二の家族にあたります。海外からの留学生は皆様と過ごす毎日の生活から日本の習慣、文化、生活スタイル、考え方など様々なことを学び、皆様を本当の家族のように慕います。留学生を家庭の中に受け入れるにあたり、様々な疑問や不安などもあるかと思いますが、言葉の壁を気にせず、特別に意識しすぎず、皆様の通常通りの生活の中に留学生を受け入れて頂けることが、彼らにとって一番の喜びです。本書ではホストファミリーの皆様から多く寄せられる疑問にお答えしています。是非ご参考に一读頂ければと思います。

Global Exchange Education



留学生の部屋について

留学生を受け入れるにあたり、彼らの寝室が必要となります。それは個室でもお子様との相部屋でも構いませんが、基本的に留学してくる生徒は高校生ですので、可能であれば個室をご準備頂けるのが望ましいです。お子様との相部屋の場合は、同性同士に限ります。日本では赤ちゃんの頃からある一定の年齢までご両親と川の字で就寝されるご家庭も多いかと思いますが、北米やヨーロッパでは赤ちゃんの頃から自分の寝室が与えられ、一人で眠る事が当然の文化となっています。

留学生の部屋には専用の寝具と専用の机が必要となります。寝具はベッドでなくてもお布団でも構いません。留学生は限られた時間の中で様々な日本文化を体験したいと楽しみにしているので、日本独特の布団で眠る事はむしろ喜ばれます。また、専用の机は勉強机でなくても座卓でも構いません。彼らが勉強したりパソコンを使う為の机（テーブル）を寝室に用意してください。

また、留学生が皆様のお宅にホームステイ滞在中は、留学生に与えた寝室に、彼らの断りなく入室しないようにしてください。プライバシーを尊重してあげましょう。

寝室の掃除やお布団を畳んだり干したりも留学生に積極的に行わせるようにしてください。



ホストファミリー・ハンドブック



食事について

食事は朝・昼・夕の3食をご準備お願いします。特別な食事ではなく普段通りのお食事をお願いします。

留学生が好き嫌いが激しく出したものを殆ど食べない場合は、留学生個人の問題ですので、気にすることなく普段通りを心掛けて下さい。留学生は好き嫌いを克服するか、自分で用意します。

たまにはカップラーメンも日本独特の食べ物なので良い経験になります。



平日のランチについて

平日のランチは皆様をご負担にならないければ愛情のこもったお弁当を作って頂ければありがたいですが、必須ではありません。欧米の学生のランチはリンゴにクラッカーだけ。の様にとてもシンプルですので、留学生が自分で準備し持っていける食材を準備してあげて下さい。留学生によってはコンビニで好きなものをお小遣いで購入する生徒もいます。



外食について

家族での外食は毎月お支払いさせて頂く食事補助費よりお支払い頂ければありがたいです。留学生も家族の一員として扱ってあげてください。

ただし、留学生が個人的に友達等と出掛けた際の外食などは、留学生のお小遣いから払うように伝えてありますので、ご心配頂かなくて大丈夫です。



外出先の入場料などに関して

ご家族でどこかへ遊びに出掛けたり、旅行される際にも留学生を是非同行させてあげて下さい。その際の入場料や旅費などは、留学生に事前にご相談ください。ご厚意で皆様にお支払い頂ける場合は大変ありがたいですが、それは必須ではございません。

相談の上、留学生がそれらの費用が支払えない等の場合は、我々にご相談下さい。我々から母国の保護者様にご説明させて頂く等、なんらかの対応をさせていただきます。

ホストファミリー・ハンドブック



休日の過ごし方について

休日も普段通りで構いません。どこか特別な所に連れて行ってあげなければ・・・と特別意識されなくて大丈夫です。
我々のプログラムでは1学年留学の生徒は月に1回、1学期留学の生徒は月に2回、プログラム主催の遠足や旅行、文化体験に留学生を連れていきます。ですので、皆様が留学生の為に特別な計画を立てる義務はございませんのでご安心ください。



留学生と旅行される場合

留学生と県外へ旅行（日帰り含む）される場合は、必ずご出発日の15日前までに事務局の方に許可を取るようお願い致します。留学生の保護者様からは事前に事務局が許可した旅行に際する万が一のケガや事故における皆様への責任は免責する許可をいただいておりますが、我々の許可外の場合はそれに含まれません。



留学生のお小遣いについて

皆様が留学生にお小遣いを与える必要は一切ございません。留学生には文具などの自分の消耗品や買い物、お土産などは自分自身で購入するよう指導しています。
万が一、留学生が皆様に金品を要求した場合には、プログラムの規則違反となりますので、留学生は処分を受けますので、そのような事がもしございましたら、事務局にご連絡下さい。
誕生日などのお祝い事やお年玉など、皆様からのご厚意は感謝して受け取るよう指導しています。



家族のルールについて

留学生には皆様のご家庭のルールを守るように指導しております。門限や就寝時間、起床時間、家族の手伝いなど、留学生にもそれらを守るようにしてください。
お手伝いなど、何か役割分担を与えて頂いた方が、留学生も家族の一員として生活している気持ちになるかと思えます。
ただ、ご家庭にお子様がいいらっしゃる場合、そのお手伝いの内容は、お子様と同じ程度のものにして下さい。留学生にだけ手伝わせるといった平等性に欠ける事、また自営業等のご家庭の場合、明らかに長時間の「労働」を強いる行為は固く禁止させていただきます。

ホストファミリー・ハンドブック



ボランティア・地域活動

留学生を皆様の地域のボランティア活動に積極に参加させて頂けるとありがたいです。個人レベルの地域のゴミ拾いでも構いません。また、地域の方たちとの交流の場などにも是非参加させて頂き、より多くの方々と出会う機会を与えて頂けたらありがたいです。留学生がボランティアなどに参加される場合には、内容を事前に事務局までご連絡下さい。



病気など緊急時について

留学生が病気など体調を崩し、学校をお休みする場合は、皆様から学校に連絡を入れて下さい。また、病院へ行く必要がある場合には、事務局が対応いたしますので速やかにご連絡下さい。ただし、緊急性の伴う場合は、一時的に留学生の同伴をお願いする場合がございますが、スタッフがその後対応致しますのでご連絡下さい。



国民保険について

3か月以上日本に留学で滞在する留学生は、住民登録と国民健康保険への加入が日本国から義務とされています。その為、皆様のご住所に別世帯として留学生の住民登録が必要となりますが、皆様の保険料や扶養などに影響は全く出ませんのでご安心ください。また留学生帰国時に、こちらは抹消させていただきます。住民登録を行う事で、留学生は日本の国民健康保険に自動的に加入致します。国民健康保険料はお住いの自治体より留学生宛に保険料の振込用紙が届きますので、コンビニエンスストアのレジで留学生が支払います。



飲酒・喫煙・運転などについて

各国で飲酒や喫煙、車の運転が許可される年齢は違いますが、留学生には日本の法律が適用されます。その為、飲酒・喫煙・運転などが発覚した際には、即帰国となります。（運転に関しては母国で免許を取得していてもプログラムの規則上禁止です）留学生に飲酒や喫煙や運転をくれぐれも勧めないようにお願い致します。また留学生がこれらの行為を行った場合には直ぐにご連絡下さい。

ホストファミリー・ハンドブック



通学手段

留学生は学校に日本の生徒同様、自分で通わせるようにしてください。通学に伴う定期券などは生徒自身の負担で購入します。学校初日までに学校への行き方を教えてあげてください。自転車で通える距離に学校がある場合には、自転車通学も可能です。その際には「自転車通学許可」が必要となりますので、事務局にご相談ください。但し余程交通機関のアクセスが不便でない限りは安全上、公共交通機関での通学を推進しています。また、大雨や台風などで明らかに迎えが必要な場合にはご協力をお願い致します。



ホストファミリーの帰省等

ホストファミリーがご実家に帰省される際にも留学生を家族同様と一緒に連れて行っていただき、ご親戚との交流を楽しませて頂けたらありがたいです。留学生にとって家族の輪に入れてもらえない事は、大きな疎外感を感じさせてしまいます。どうしても何らかのご事情により留学生を連れていくことが出来ない場合はご相談下さい。決して留学生だけを残して外泊を伴う留守はなさらないでください。ご自身のお子様と同様に扱って頂けますことをお願い致します。



お風呂について

日本のお風呂の入り方は留学生にオリエンテーションで指導していますが、シャワーだけで済ませる生徒も多いです。シャワーの使用は最長10分まで。こまめにお湯を止めながら使用するよう伝えております。また、来日する際には当面のシャンプーなど使い慣れているものを持参するよう留学生に伝えておりますが、それを使い切った後は、自分で購入するように指導しています。



日常会話

ご家庭での会話は基本的に日本語で構いません。どうしても伝わらない時には英語やGoogle翻訳アプリなどで意思疎通をしてみてくださいと思います。英語の話せないご家庭でも全く問題はございません。もし留学生に伝えづらいことなどございましたら、事務局にご相談ください。日本に留学に来る生徒たちは日本語を学ぶため、これまで学習してきた日本語を練習する為に日本に留学してくる生徒が多いです。常に英語だけの会話は控えるようにお願い致します。